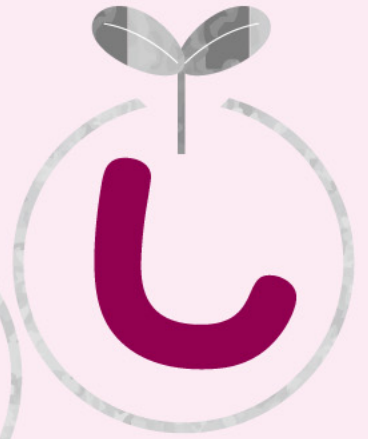
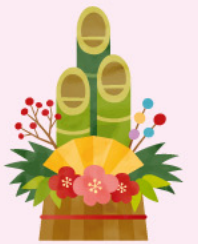


・人 広報



謹賀新年



組合員皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

1 月号

NO.639



新年挨拶

伊達市農業協同組合

代表理事組合長 佐藤 哲

新年明けましておめでとうございます。
組合員の皆様方にはご家族共々に新年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。また昨年一年間、農協事業運営に対しご指導とご協力、ご支援を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。

新春を迎えるにあたり、昨年を振り返りますと札幌雪祭りから始まる新型コロナウイルス感染症は一年間猛威を振るい続け、未だ解決策が見出せない状況です。今年もコロナに振り回される状況が続くと思われませんが、基礎的食料は国民生活に必須なので大幅な需要減退は避けられそうです。他産業ではコロナ倒産が数多くあると聞いています。伊達市農協の農家経済は一部の品目を除いて昨年は概ね良好でした。今年も

そうあることを願うばかりです。コロナ感染についても我々の農業は密閉、密集、密接を避けやすい職業であり、外出時にマスクを着用し、帰宅後手洗い、うがいを励行すると感染リスクが極端に下がります。コロナ感染症を防ぎ、組合員皆様の無病息災を願うものです。

今年も多くの方や北海道、伊達市等の農家に対する経済対策が想定されますが、出来る限り組合員の皆様にプラスになるように役職員一丸となって対応してまいります。今後とも組合員の皆様のご協力・ご支援をお願い申し上げますと共に、どうか新しい年が組合員の皆様にとって最良の年であることをご祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。

謹賀新年



旧年中はいろいろとお世話になりました
本年もどうぞよろしくお願い致します

令和三年元旦



副組合長
松本 喬一



理事
遠藤 活典



理事
舟迫 昌光



理事
近井 一夫



理事(学識経験)
上田 孝弘



理事(学識経験)
草野 英男



新年を迎えて

伊達市農業協同組合

代表監事 廣瀬 啓悦

組合員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。令和3年の新春をご家族共々ご健康で迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より農協事業へのご支援ご協力賜り誠にありがとうございます。本年も引き続きご利用よろしくお願いたします。

昨年は年明け早々、中国湖北省武漢市が発生起源とされている新型コロナウイルス感染症が各国の人々の移動により世界中に感染拡大する状況となり、日本では緊急事態宣言が発令され、他国への渡航禁止、学校の長期休校、不要不急の外出自粛等、非日常的な生活となり社会経済が急停止し、だれもが経験したことのない事態となりました。農業への影響がどれだけ出るのか農協事業は成り立つのか全く予想がつかない中、春耕期を迎えました。昨年の営農状

況は肉用牛、花卉にコロナ禍の影響が見られたものの全体的には順調な営農年であったことと何より組合員、家族、職員に感染者が出なかったことが一番安堵しています。

令和2年度は第7次農業振興計画及び中期経営計画の最終年度です。各課による基本方針達成度を検証し実績と成果、現状の問題や課題を洗い出し、次期計画に何を盛り込むことが営農に必要なのかを検討し、作成しています。第7次農業振興計画の検討事項であるトマト選果機更新と選果場の移転については実施に向けて準備を進めています。中期経営計画では事業利益2千万円以上の確保を毎年見込んでいますが本年度も厳しい状況です。5年間の平均事業利益未達成の指摘を受け、改善対策が急務であることから監事会として各課に作業の効率化、事業管理費の削減、低迷する共済事業の新たな推進方法、店舗の収支改善計画がなかなか進捗しない状況であり、事業の見直しなど事業利益確保に向け早急な検討を理事会に強く要請しています。

今後も経営全体に注視しながら自己監査を実施してまいります。

コロナ禍が続き、全国的に感染拡大が進み、胆振管内でも急増しています。農協としても災害対策計画に早々に新型コロナウイルス感染症を加え、北海道スタイルの実践等感染対策を講じておりますが組合員、ご家族の皆さまもひとり一人が十分に気を払い、健康で営農を続けられ、本年も豊かな出来秋を迎えられるよう穏やかな天候と一日でも早い新型コロナウイルス感染症の収束を心からご祈念いたします。今後も農協事業へのご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。



理事
小野 順孝



理事
唐澤 健康



理事
原 一晴



監事
菅原 俊和



監事(員外)
山崎 博司



年頭のご挨拶

胆振農業改良普及センター

所 長 小 坂 善 仁

あけましておめでとうございます。

令和3年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃の普及活動に対しまして、皆様のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和2年を振り返りますと、2月下旬からの新型コロナウイルスの発生により総会等の会議中止や雇用確保、販売面において大変ご苦労されたものと存じます。幸い農耕期全般を通し天候に恵まれ、気温や日照は平年を超え高温傾向で降雨も少なく推移し、台風などの被害もなく終わりました。作柄につきましては、水稻・野菜類・飼料作物ともやや良で、畑作物では平年並みからやや劣る状況もありましたが、おおむね作物全般にとっては良好な1年でありました。稔り多き出来秋を得られましたのは皆様の営農に対する不断の努力の賜と推察いたします。

今日の農業を取り巻く状況は、農業従事者や農村人口の減少、高齢化により、人手不足や生産基盤の弱体化、農村地域の集落機能の一層の低下等が懸念されています。また、近年の気象変動による災害の増加や新型コロナウイルス感染症等による社会環境や消費流通の変化により大きく情勢は変わろうとしています。

一方では、消費者の「食の安全・安心」への関心が高まっており、地域農業の果たす役割は地域資源を活かして、安全・安心な農畜産物を安定的に供給するとともに、地域の農地や環境の保全、農村景観の形成、地域経済の活性化など地域社会の維持が課題となっています。

このため、胆振農業改良普及センターの普及活動では、「地域の農業を支える多様な担い手の育成・確保」、「持続可能で生産性の高い農業・

農村の推進」、「省力化生産技術の普及・定着」、「高付加価値化を創出する農業・農村づくり」、「災害への対応」等を基本課題とし、関係機関の皆様と連携しながら、「地域農業の維持、発展」を目指して活動を進めて参ります。

最後に、新型コロナウイルスに対応した北海道スタイルの下となりますが、本年も稔り多き年となり、皆様のご健勝を祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

昨年中は格別なるお引き立てを頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

尚、本年も変わらぬご愛顧の程お願い申し上げます。 職員一同



- 登別支所
- 〈内部監査室〉
- 生活課
- 農機燃料自動車課
- 生産資材課
- 〈購買部〉
- 畜産課・営農指導課
- 生産販売課
- 〈営農生産部〉
- 営農融資課
- 金融共済課
- 〈信用部〉
- 総務課・審査課
- 〈総務部〉



令和3年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しても、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業は、米の作況指数が106の「良」、畑作物については収穫時期に一部地域に降雨による影響が見られたものの平年並以上の結果となり、生乳も前年の実績を超える生産となり、地域、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることが出来たと感じております。

しかしながら、昨年は、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した1年でありました。農業分野においても例外ではなく各種イベントの自粛、外食・中食の需要減少等の影響により、各作物の更なる需給緩和が懸念されているところです。今後は作物ごとの実態を踏まえた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、外国人技能実習生が入国できないことにより、農作業の人材確保にも大きな影響が出ておりますので、北海道、全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図ってまいります。

JAグループ北海道では、昨年より道民の皆様に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者の関係のあり方を見つめなおしていただくことを目的として「AGRI ACTION! HOKKAIDO (アグリアクション北海道)」と題した情報発信を北海道の支援もいただき、スタートいたしました。

「AGRI ACTION! HOKKAIDO」は次の

3つのテーマを伝えることを目的としております。

- ①食料自給率に対する理解促進と行動変容の喚起
- ②農業には多様な働き方があるということの周知とより多くの方が農業に携わっていただき、将来的に農業を仕事の選択肢として考えてもらうこと(本業以外に副業として農業に親しむ人々を「パラレルノーカー」と命名)
- ③日頃から道産農畜産物を食している道民の皆様感謝を伝えること

本年は第29回JA北海道大会の実践最終年であることから、この取組みと協同の力を梃子として「農業所得の増大」「多様な担い手の確保・育成」「食と農とでつながるサポーター550万人づくり」の目標達成に向けて、実践活動を強化してまいります。

結びになりますが、本年は辛丑年です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢(耐える)」、「これから発展する前触れ」というような年になると伝えられております。

この謂われにあやかり、新型コロナウイルスの1日も早い克服と皆様のご健勝、本年が豊穡の年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



■ 第43回 J A伊達市 野菜生産部会協議会定期総会

12月11日(金)、J A伊達市野菜生産部会協議会では、第43回定期総会をJ A伊達市本所にて開催しました。総会ではコロナ禍における各事業で使われていない予算の来季に向けた活用方法が示され、全ての部会及び総括する野菜生産部会協議会の役員改選が行われ、いくつかの部会で新体制となりました。

前協議会長の大滝真さんは「コロナ禍でも青果取扱販売額は108%で昨年を上回った。

春先の早出し野菜が好調に推移し、伊達市の地理的優位性が功を奏した」と挨拶しました。

令和2年11月末時点での野菜取扱金額は14億円を超え、1億1千万程度高くなる見込み。各品目取扱金額はキャベツでは昨年の105%で2億1千万円、ブロッコリーは116%で3億6千万円、トマトは114%で2億8百万円、馬鈴薯は道内トップで収穫され高値で取引されたため昨年の132%で1千9百万円と主な品目で昨年より販売金額が上がりました。

協議会では、振興作物であるキャベツ、ブロッコリー、トマト、冬野菜（ハウレンソウ等）を中軸に多種多品目の充実した野菜の有利販売強化と農家の所得向上のために作付面積の維持と栽培技術の習得を目指し、消費者のニーズに応えることを目標としています。



カボチャ部会の総会のようす



前協議会長大滝真さんの挨拶のようす

■ 営農計画書作成講習会

12月10日(木)、営農計画書作成講習会がJ A伊達市本所にて開催されました。講習会には組合員約20名が参加し、令和3年度の営農計画書の記入方法や変更点、土地利用計画、クミカン総括表、生産と販売計画などの記載方法等について担当課長より説明しました。

営農計画書は営農改善や所得向上に向けて経営を把握することを目的としており、様々な環境から計画通りに行かないことがありますが、経営計画や経営内容を「見える化」し、節税効果や、所得向上、作業効率化を目指して営農計画に基づいた営農をしていきましょう。



説明を聞く組合員のようす

■ 役職員コンプライアンス研修

12月4日(金)、役職員向けコンプライアンス研修をJA伊達市本所にて実施しました。

役職員全員がコンプライアンスに遵守し、クミカンや、貯金、現金を取扱うJA役職員のコンプライアンス事故や不祥事を未然に防ぐため年1回必ず実施されます。

役職員のコミュニケーションを十分に図ることや部下へのフォローアップ、上司への報告・連絡・相談をしやすい環境づくりを実践することにより事故を起こさせない組織を目指しています。



研修を受ける職員の様子

令和2年度 年末年始営業日

令和2年12月30日(水)～令和3年1月6日(水)

	本 所		登別支所		クミカン 窓 口	グリーン センター	機 械 センター	マーケット	授精 生乳 検査
	金融 共済	ATM	金融 共済	ATM					
12月30日(水)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月31日(木)	×	×	×	×	×	×	×	9:00 ? 17:00	○
1月1日(金)	×	×	×	×	×	×	×	×	○
1月2日(土)	×	×	×	×	×	×	×	×	○
1月3日(日)	×	×	×	×	×	×	×	9:30 ? 17:00	○
1月4日(月)	○	8:30 ? 17:00	○	8:30 ? 17:00	×	×	×	17:00	○
1月5日(火)	○	17:00	○	17:00	×	×	×	○	○
1月6日(水)	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ご理解・ご協力よろしくお願いします。

地区別組合員懇談会日程

日	時	地 区	会 場
12日(火)	10:00~	黄金・室蘭地区	はまなす館
	13:30~	東地区	未来館
14日(木)	9:30~	稀府地区	中稀府会館(旧農村婦人の家)
	13:30~	登別地区	登別支所 2 F
15日(金)	9:30~	中央地区	本所 2 F 会議室
	13:30~	関内地区	関内福祉会館
16日(土)	10:00~	長和地区	ふれあい館
	13:30~	有珠地区	白鳥館

▶お詫び…12月号掲載の長和地区の時間について誤りがありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

16日(土) 長和地区 (誤) 9:30~ (正) 10:00~

新型コロナウイルス感染対策

北海道内の感染が拡大しています。新型コロナウイルスの感染対策を最大限に実施し、自分や家族、周囲の方々の命を守りましょう！

農協からのお願い

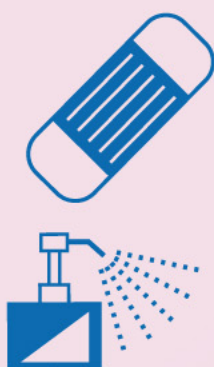
感染症予防のため

農協を利用される方は

マスク着用と

手指の消毒に

ご協力お願い致します。



発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL.0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp <http://www.ja-dateshi.or.jp>



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

